

## 第 64 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 2 年 7 月 13 日（月）14：00～14：55

場 所：福井県庁 10 階 総合防災センター

出席委員：鞍谷委員長、三島委員、泉委員、大堀委員、近藤委員、田島委員、玉川委員、望月委員

議 題：

- （1）原子力発電所周辺の環境放射能調査について
  - ・令和元年度 第 4 四半期（令和 2 年 1 月～ 3 月）報告
- （2）発電所の運転および廃止措置状況について
  - ・令和 2 年 3 月～ 7 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査結果（令和元年度 第 4 四半期））

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、環境安全上問題となるレベル<sup>※1</sup>に比べ、はるかに低い濃度であった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベル<sup>※1</sup>と比べ、はるかに低い濃度であった。

（発電所の運転および廃止措置状況（令和 2 年 3 月～ 7 月））

- ・ 今期間の運転状況は、計画外の原子炉停止や出力抑制はなかった。現在、県内発電所 5 基<sup>※2</sup>が定期検査を実施している。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象はなかった。

※ 1：発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値：年間 0.05 ミリシーベルト

※ 2：敦賀発電所 2 号機、美浜発電所 3 号機、高浜発電所 1～3 号機

（主な質疑）

- Q. トリチウムの分析について、陸水は水道水とのことだが蛇口から出てくるものか、それとも水道水源か。
- A. 蛇口から出てくる水を使って分析している。
- Q. 高浜 3 号機で発生した蒸気発生器（SG）伝熱管の損傷は、高浜発電所で続けて起きているが、根本原因は調べられているのか。大飯発電所で同じことが起きていないのは何か作業手順など違う点があるのではないか。
- A. ご指摘の件について、現在、関西電力は SG 器内等の異物確認を行うとともに、SG 器内に混入した経路等について調査を行っている

以 上